

声を出してがんばろう！

少年野球
神宮寺ライガース

エースを中心に守り抜く



日曜日は一日中、神宮寺公園多目的広場で練習しています。土曜日は基礎練習が中心、日曜日はほかのチームと練習試合をすることが多くなります。

打撃向上が勝利の鍵



指導してくれるのは、石川代表、中山監督と6人のコーチ。監督たちは、誰がどのポジションに向いているか、いつも僕たちを見つめ、真剣に考えてくれます。よく言われることは、あいさつをしよつ、元気よく声を出そつ、何事も最後までがんばろうということです。



練習を見に来てね

キャッチボールなどの基本練習を大事にしています。

僕たちの目標は3年前の先輩たちが達成した、県大会出場を果たすことです。上位と下位、切れ目のない打線を作ること、伝統の守りの野球に磨きをかけることが重要になります。そのために、基本を大切にしながら、集中して練習に取り組んでいます。

練習場は、玉造公民館の隣りです。僕たちの練習を見にきてください。そして、一緒に野球を楽しむ仲間を募集しています。野球って楽しいよ。

なかまと一緒(47)●●

あでやかで優美な世界

弥生の会(木目込み人形)



数多くあり、初心者でも気軽に作ることができます。

わたしたちは第2・4水曜日に加良部公民館で、布施寿美枝先生の指導のもと木目込み人形を制作しています。人形の誕生から二五〇年以上の歴史をもつ伝統工芸です。

木目込み人形といっても人形以外の作品も数多くあり、初心者でも気軽に作ることができます。色や柄などの組み合わせを変えるだけで優美な人形と一味違ってくるかわいらしい作品もできます。



伝統の人形づくりを楽しむ



とても心が和みます

人形の作り方は、桐粉(きりこ)を固めた型の溝に裁断した布を目打ちで入れていくものです。しかし、布を綺麗に木目込むために、型にやすりがけをするなど下準備がとても大切です。また、線溝と線の交差する部分を丁寧に仕上げないと美しく見えません。完成したときの美しさが、わたしたちの心を癒やしてくれるのです。そして先生や仲間との楽しい語らいが人形づくりを長続きさせる要因かもしれません。二カ月前、部屋からまれる笑い声に誘われて入会した人は、三作目に取り組んでいます。今、愛情を注ぎ完成させた優しい人形を見るたびに、「雅(みやび)の世界に引き込まれてしまいます。

市民の

わたしの故郷は…

わたしの生まれたところは沖縄県中部の北谷という小さな村です。

戦争があったとき、米軍がやってきて、そこに基地をつくりました。その戦争が始まる前に、わたしは両親とともに、東京の品川に移り住みました。後に両親は、遠山村天浪の開拓地に入り、そこが第二の故郷になりました。しかしそこも、国際空港になり、近くの大清水に越しました。第一、第二の故郷は、ともに今はフェンスの中にあります。

現在住む大清水は、どうやら最後の故郷になりそうです。家の前に牧場があり、田んぼもあり、孫たちのサイクリングができる川縁の道もあり、そして、なにより成田には、どつさり本を貸してくれる大きな素晴らしい図書館もあります。

この欄に登場する皆さんは、それ



原信夫さん(大清水)



町の半分を占める米軍基地はひとつの町のように

それ懐かしそうに回想しておられます。そういう生まれ故郷は、わたしにはなくなりました。沖縄は海も空も空気もステキです。しかし、「ふるさと」は遠くにありて思ふもの。そこは、懐かしいだけでなく、辛いところでもあります。

なにしろ、夏川りみさんみたいな可愛い娘さんたちが、何十人も、洞穴の中で自決したところでもありませんからね。

今住んでいるところが、わたしの故郷です。

ふるさとトーク(116) 沖縄県北谷町

ひろば



高原桃矢ちゃん(中台)

こんにちは
赤ちゃん 102



富田萌ちゃん(江井須)

スクスクのびのび 306

遠藤朱音ちゃん(4歳)中台

今日はゾウさん公園に遊びに来たの。ブランコ大好き！はやくこぐのが楽しいな。砂でおだんごも作ったよ。これから幼稚園の作品展に行くの。私が作った粘土のウサギさん、ママとお姉ちゃんに見てもらいたいな！



ペット大好き 83



水村嘉治さん(吾妻)
タロー(オス・左)・はな(メス・右)

はなは活発でタローはとてもおとなしいという、性格が正反対2匹です。散歩は、毎回コースを変えています。車に乗って坂田ヶ池公園まで行くこともありますよ。